

令和5年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

令和５年度事業報告

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団（以下、財団という。）は、指定管理者として京都コンサートホール、ロームシアター京都及び地域文化会館（５館）の施設管理運営を行うとともに、京都市交響楽団の運営を行っております。

令和５年度は、京都コンサートホール、地域文化会館は５期目の指定管理期間（令和５年度から８年度）の初年度を迎え、ロームシアター京都については、８年間（令和元年度から８年度）の指定管理者として後期期間の初年度を迎える年でありました。

また、文化庁の京都移転、京都市立芸術大学の京都駅東部への全面移転など京都市にとっても大きな節目となる１年でありました。

そのような中、各施設において「中期経営計画２０２５」に基づき策定した、指定管理者申請書において提案した取組を着実に推進し、京都の文化芸術の魅力を様々な方法により発信し、文化芸術による心豊かな社会に資する取組を進めてまいりました。

さらに、京都市交響楽団においては、第１４代常任指揮者である、沖澤のどか氏と共に新たなステージへ向けて名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図ってまいりました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 主催・共催事業〔全44事業51公演7講座〕

京都コンサートホールでは、文化庁の京都移転及び京都市立芸術大学新キャンパス移転の機運に乗り、年間のテーマを「京都・きょうと・KYOTO」として、様々な国や年齢層の方々にクラシック音楽を楽しんでいただける、多彩な事業を提供してまいりました。ホール内にとどまらず、ホールの外でも積極的にコンサートを開催したことにより、あらゆる人々に京都コンサートホールの魅力を伝えることができました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



京都市交響楽団の活動拠点である当ホールからオーケストラの魅力をより広く発信するため、2公演を実施しました。「第27回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」では、指揮に当ホール館長の広上淳一、ピアノに津田裕也を迎え、音楽祭の幕開けを華々しく飾りました。

『京都コンサートホール×京都市交響楽団プロジェクト Vol.4』では、2023年に生誕210年・没後140年を迎えたリヒャルト・ワーグナーに焦点を当て、びわ湖ホールでワーグナーの楽劇シリーズを完遂した沼尻竜典によるタクトのもと、特別なオール・ワーグナー・プログラムをお届けしました。

また、京都市交響楽団メンバーによる室内楽活動を促進するために、「京都バロック室内合奏団Vol.5」「京都しんぷおにえった」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.19」「KYOTO STRINGS」の4公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

令和5年度は、海外オーケストラとして「ハンブルク交響楽団（共催）」「ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団（共催）」「2つのショパン国際コンクール優勝ピアニストによる The Real Chopin×18世紀オーケストラ 京都公演」の3公演を開催し、多くのお客様にドイツやオランダのモダンオーケストラ及び古楽オーケストラの演奏をお楽しみいただきました。

アンサンブルホールムラタでは、2023年に没後60年を迎えた、フランス近現代を代表する作曲家フランシス・プーランクの作品を取り上げたコンサートを開催。世界的ピアニストでありプーランク演奏を十八番とするパスカル・ロジェを招聘し、京都にゆかりのある木管五重奏団「ウインドクインテット・ソノリテ」をゲストに、プーランクのピアノ独奏曲や室内楽作品を取り上げ、拍手喝采を浴びました。

また、海外アーティストによる世界水準の演奏をお楽しみいただく『北山クラシック倶楽部』シリーズでは、ピアノ・リサイタル、金管七重奏、ホルンアンサンブル、オーボエ&ハープデュオの4公演を開催し、質の高い演奏を聴衆に届けることができました。



3 日本有数のパイプオルガンの活用



ヨハネス・クライス社製のパイプオルガンの音をお楽しみいただく「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」では、世界的オルガニストを紹介する“世界のオルガニスト”としてドイツ在住のオルガニスト福本茉莉を、日本のオルガニストの魅力を発掘する“オルガニスト・エトワール”として多方面で活躍中の石丸由佳をゲストに迎え、2名のオルガニストの個性が光るコンサートを開催しました。

福本茉莉が出演した“世界のオルガニスト”公演では、協賛会社であるオムロン株式会社の創立90周年を祝福する演奏を披露しました。また、石丸由佳が出演した“オルガニスト・エトワール”ではホール初の試みとなるプラネタリウムを取り入れたコンサートを開催し、ナビゲーターに元 京都市青少年科学センター学芸員の本部勲夫を迎えるなど、これまでにない企画が話題を呼び、チケットが完売しました。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援



京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」では、元京都市立芸術大学教授の下野竜也によるタクトで、フェスティバル初となるベートーヴェンの《交響曲第9番「合唱付き」》を演奏しました。

京都市ジュニアオーケストラによる「第19回京都市ジュニアオーケストラコンサート」では、指揮者の園田隆一郎による指導・指揮により、ビゼーの「アルルの女」組曲やチャイコフスキーの《交響曲第5番 ホ短調》といった大曲に挑戦し、一年間の活動の集大成を披露しました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業



子どもから大人まで幅広い年齢層の聴衆を対象とした『KCH的クラシック音楽のススメ 第4回』ではテーマを「ジャズ×クラシック！」とし、世界的ジャズピアニストである小曾根真をゲストに迎えてワークショップとスペシャルライブの2部制によるコンサートをお楽しみいただきました。京都でしか聴くことのできないオリジナルプログラムとあって、チケットは完売し、公

演当日は熱気に満ちたライブが繰り広げられました。

幼稚園児がオルガンに親しむ体験型事業「ポジティブオルガン体験講座」では、子どもが楽しみながら学べるよう様々な工夫を施しながら、4園・計104名の幼児にパイプオルガンの音が出る仕組みや音楽の楽しさを伝えました。

「Join us (ジョイ・ナス)！～キョウト・ミュージック・アウトリーチ～」では、活動2年目（最終年）を迎えた京都コンサートホール第2期登録アーティスト2名が市内の小学校や中学校をはじめ、総合支援学校や老人介護福祉施設、障がい者施設等を訪問し、生演奏の素晴らしさを音楽とお話で多くの方々に伝えました。また、3月に開催した「最終年度リサイタル」では、2年間のアウトリーチ活動の集大成を披露すると共に、「音楽家」としての魅力を最大限に発揮する独自のプログラムによるリサイタルを開催しました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催



平日午前11時開演のランチタイム・コンサート「京都北山マチネ・シリーズ」では、ギター、ピアノ、ヴィオラ&ピアノ、トランペットの4公演を開催し、個性豊かな日本の若手～中堅音楽家の演奏を大勢のお客様にお聴きいただきました。また、公募によって出演者を決定する「リレーコンサート」では、小学生から70代まで幅広い年齢層のアマチュア演奏家が出演し、多彩な演奏を楽しむ

ことができるコンサートとなりました。北山あおいフェスティバルと同時開催し、まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しました。

さらに2023年度は、文化庁京都移転と京都市立芸術大学新キャンパス移転を記念した特別事業「Kyoto Music Caravan 2023」を開催しました。国内外の様々なお客様に京都というまちの素晴らしさを伝えるため、市内11行政区の名所・観光地で無料コンサートを実施すると同時に、すべての演奏会で京都市立芸術大学ゆかりの音楽家が出演することで、あらためて市芸の優秀な人材育成をアピールしました。また、イベントの総仕上げとして市芸新キャンパスの堀場信吉記念ホールで開催した「スペシャル・コンサート」では、京都市に設

置されているすべてのクラシック音楽教育機関（京都市立芸術大学・京都市立京都堀川音楽高等学校・京都市少年合唱団・京都子どもの音楽教室・京都市ジュニアオーケストラ）が一堂に会し、京都の豊かなクラシック音楽教育土壌を広く周知することができました。



7 賑わい事業の開催

京都コンサートホール1階エントランスホールを活用した賑わい事業として「ニューイ・ブランシュKYOTO 2023」（白夜祭）及び「京都コンサートホール ロビーコンサート」を開催しました。「ニューイ・ブランシュKYOTO 2023」では、フランシス・プーランクの歌曲と20世紀に流行したシャンソンをプログラミング。「ロビーコンサート」では、アコーディオン、チェロ、2台のヴィオラの3公演を開催し、いずれの公演でも200名を超える来場者に恵まれました。

また、3月に北山エリアで“出逢い”をテーマに開催された「北山あおいフェスティバル」の一環として、地域の学生と団体が協働で「北山あおい茶会」を開催しました。

さらには、クリスマスの季節感を創出するためにイルミネーションを設置しました。



（参考）京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事 業 数	44 事業	46 事業	35 事業	44 事業
公 演 数	62 公演	55 公演	42 公演	51 公演
講 座 数	5 講座	4 講座	4 講座	7 講座

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度はうち中止17事業29公演5講座、延期13事業12公演、令和3年度はうち中止11事業11公演、延期2事業2公演、令和4年度はうち中止1事業1公演。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会など11事業を支援しました。

(参考) 令和5年度 京都コンサートホール ホール利用助成金交付制度による支援実績

事業名	事業日	主催者
京都市立芸術大学 現代音楽研究会club MoCo 第1回定期演奏会	5月12日(金) アンサンブルホール ムラタ	京都市立芸術大学 現代音楽研究会club MoCo
京都大学交響楽団 第213回定期演奏会	6月16日(金) 大ホール	京都大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第130回定期演奏会 リハーサル	11月30日(木) 大ホール	立命館大学交響楽団
立命館大学交響楽団 第130回定期演奏会	12月1日(金) 大ホール	
京都市立芸術大学 現代音楽研究会club MoCo 第2回定期演奏会	12月15日(金) アンサンブルホール ムラタ	京都市立芸術大学 現代音楽研究会club MoCo
京都大学交響楽団 第214回定期演奏会	1月17日(水) 大ホール	京都大学交響楽団
京都大学交響楽団金管セクションによる 近衛金管アンサンブル 第23回演奏会	3月8日(金) アンサンブルホール ムラタ	京都大学交響楽団金管セクションによる近衛金管アンサンブル
大谷中学高等学校吹奏楽部 第60回定期演奏会	3月25日(月) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部 第42回定期演奏会	3月25日(月) アンサンブルホール ムラタ	京都府立北嵯峨高等学校吹奏楽部
京都精華学園高等学校吹奏楽部 第37回定期演奏会	3月26日(火) 大ホール	京都精華学園高等学校吹奏楽部
京都女子中学校・高等学校コーラス部 第26回定期演奏会	3月26日(火) アンサンブルホール ムラタ	京都女子中学校・高等学校コーラス部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第39回定期演奏会	3月28日(木) 大ホール	京都市立上京中学校吹奏楽部

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにおいては、「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を果たすとともに、音楽とのすばらしい出会いを創出し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、利用者ニーズの把握を積極的に行うなど利用の促進に努めました。

また、リピーター確保に向けた取組として、施設で働く従事者に利用者アンケートの結果をフィードバックし、利用者からの評価・ご意見等を共有・改善に向けた協議をすることで、顧客満足度の向上に努めました。

実績 1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ホール料金収入額	215,182 千円	85,429 千円	170,928 千円	211,856 千円	202,873 千円
駐車場利用収入額	17,956 千円	6,912 千円	11,355 千円	14,604 千円	15,776 千円
計	233,138 千円	92,341 千円	182,283 千円	226,460 千円	218,649 千円

実績 2 入場者数

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数の目標値	325,000 名	296,000 名	296,000 名	296,000 名	296,000 名
入場者数の実績値	295,466 名	48,209 名	103,894 名	200,135 名	241,075 名
目 標 達 成 度	90.9%	16.2 %	35.0 %	67.6 %	81.4 %

実績 3 日数利用率

大ホール

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	70%	67 %	68 %	69 %	71 %
利用率（日数）の実績値	69%	40 %	72 %	73 %	68 %
目 標 達 成 度	98.6%	59.7 %	104.4 %	105.7 %	95.7 %

アンサンブルホールムラタ

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	58%	62 %	60 %	61 %	62 %
利用率（日数）の実績値	61%	28 %	55 %	62 %	62 %
目 標 達 成 度	105.2%	41.7 %	90.0 %	101.6 %	100 %

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度からCS（顧客満足度向上）委員会やホールレセプションニスト会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待に応える接客・応対について協議してまいりました。

また、さらなるご意見を収集するために、ホワイエやバックヤードにQRコードから回答できるWEBアンケートを設置したところ、109件のご意見をいただき、サービス向上ならびに改善に繋げることができました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」を設置し、さらなるサービス向上に努めました。

また、京都コンサートホール・ロームシアター京都の施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状（サンキューレター）を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

(参考) アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項 目	京 都 コンサート ホ ー ル	東 部 文 化 会 館	呉 竹 文 化 セ ン タ ー	西 文 化 会 館 ウエスティ	北 文 化 会 館	右 京 ふれあい 文化会館	ロ ー ム シアター 京 都
案 内 表 示	76%	92%	80%	91%	76%	69%	51%
応対の仕方	88%	91%	83%	94%	71%	65%	92%
身だしなみ	86%	92%	80%	92%	76%	65%	93%
態 度	86%	92%	85%	94%	74%	65%	93%
言葉づかい	85%	93%	87%	95%	77%	66%	93%
説明の仕方	82%	93%	82%	93%	72%	66%	89%
窓口の印象	81%	98%	88%	93%	87%	77%	80%
清 掃	—	96%	89%	91%	83%	75%	—

(3) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでもらうために、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や客席内にて鑑賞マナー向上を啓発するパネルをレセプションにより掲示する等して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるよう、より良い環境づくりに努めました。

(4) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から28年が経過したことで、施設・設備の経年劣化が進んでいるため、財団としてもより一層施設等の修繕に力を入れ、安全面や利用者の快適性を視野に入れた改善に取り組みました。所有者である京都市による施設・設備の改修及び修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

また、大規模修繕へ向けて、京都市に対し引き続き計画的対応を提案してまいりました。

(参考) 主な修繕事例 (財団実施分)

修 繕 内 容
下鴨中通植栽植替
大ホールクローク照明器具取替修繕
大ホール客席扉修繕
アンサンブルホールムラタ舞台扉修繕
楽屋口前、プロムナード（北東側）タイル修繕
舞台用平台等修繕

(5) 危機管理体制の更なる強化

利用者、観客等の安全確保を考える中、現場の状況に応じた「防火・防災訓練」を行い、職員の危機管理意識の更なる向上に努めました。

3 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

(1) 主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

年間の主催事業ラインアップを事業のシリーズ毎に分類して紹介するレイアウトで構成し、発行しました。

(2) 催物カレンダーの発行

京都コンサートホールが自ら企画する主催・共催事業や、京都コンサートホールで開催される最新の催物情報を掲載したコンサートガイドを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



(3) ホームページ等の充実

WEBアクセシビリティ向上のため、共通メニューの改修やお客様が目的の公演チケットをスムーズに購入出来るように購入画面への遷移を的確にする改修を行いました。

また、京都コンサートホールの魅力をより多くの方に知っていただくため、施設や事業の様子等を撮影したプロモーションビデオを制作し、ホームページに掲載しました。

引き続き、インターネットの利点を最大限に活かし、常に新鮮な情報を発信するため、Facebook、X（旧Twitter）、公式ブログやYouTubeに加えて、新たにInstagramの公式アカウントを開設し、効果的な情報提供を行うとともに、さらに魅力あるホームページとなるよう、充実を図りました。

（４）チケット販売業務における利便性向上への取組

京都コンサートホールとロームシアター京都で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスや、インターネットからのチケット購入において各施設の窓口で引き取れるなど、チケット票券管理システムを効果的に運用することで、お客様の利便性の向上を図りました。また、電子チケットの運用やチケットカウンターにおけるキャッシュレス決済を導入するなど、多様なニーズに対応できるようにしました。

（５）貸館利用者のチケット販売受託業務の実施

チケット管理システム（Gettii）を使用して、貸館利用者のチケット販売を受託（手数料１０％）し、施設利用者や観客の利便性向上に貢献しました。

（参考）入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京 都 コ ン サ ー ト ホ ー ル	161 件	17,252,943 円
ロ ー ム シ ア タ ー 京 都	94 件	8,556,292 円
計	255 件	25,809,235 円

（６）セット券の販売

京都コンサートホールでは、アンサンブルホールムラタで世界のトップクラスの室内楽を鑑賞する「北山クラシック倶楽部」において、１００枚限定で４公演のセット券を販売しました。

（７）学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

京都コンサートホールの主催事業において、学生割引、シニア割引、障がいのある方割引に加え、３０歳以下の方に向けたＵ－３０券の販売を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等、誰もが音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

（８）ウィークデーパッケージプランの運用

クラシック音楽だけではなく、他のジャンルにも間口を広げ、多様な音楽ファンが集えるホールとして「京都コンサートホールウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、平日のホール利用率向上に貢献しました。

(参考) 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事 業 数	3 事業	5 事業	9 事業	5 事業

(参考) 令和5年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
第30回シネマ・コンサートの会	7月7日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
折坂悠太らいど2023	9月22日 (金) アンサンブルホールムラタ	(株)スマッシュ
ラヤトンジャパン・ツアー2023	11月21日 (火) 大ホール	(一財)民主音楽協会 関西センター
第31回シネマ・コンサートの会	12月8日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
クリスマス／アヴェ・マリア ウィーン・アマデウス・ゾリステン	12月14日 (木) 大ホール	(株) オトノワ

(9) 外部資金の獲得

主催事業の実施に当たっては、文化庁助成、民間助成に加え、民間企業等からの協賛金の獲得に努めました。さらには、賛助会員制度（4 各種会員制度の運営（2）賛助会員制度の運営 参照）の活用を行いました。また、「京都コンサートホール スペシャルスポンサー制度」については、令和6年度からの制度新設に向けて、準備を進めるとともに、先行して外部資金の獲得に努めました。

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーに加え、令和5年度は会員限定コンサートも開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

また、オンライン会員の「フレンズ会員」（ロームシアター京都との共通会員）については、メールマガジンで先行発売の情報などを配信し、会員数の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会 員 制 度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
京都コンサートホールClub	2,897 名	2,071 名	2,530 名	3,003 名	3,486 名
京響友の会 個人会員	1,433 名	1,337 名	1,337 名	—	—
京響友の会 法人会員	95 社	92 社	92 社	—	—
京響友の会 チケット会員	—	—	—	1,305 口	1,291 口
京響友の会 スポンサー会員	—	—	—	11 社	17 社

※京響友の会について、令和3年度は休止、令和4年度より制度見直し

(参考) フレンズ会員登録数

年 度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新 規 登 録 数	7,857 名	3,982 名	5,873 名	9,475 名	8,831 名
累 計 登 録 数	50,898 名	64,338 名	70,211 名	79,686 名	88,517 名

(2) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には、会報の送付やチケットの先行予約のほか、会員向けに事業報告会やバックステージツアー、ゲネプロ公開を行い、事業内容を深くご理解いただくことで継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は、京都コンサートホール及びロームシアター京都の主催事業の事業費に充当しました。

(参考) 会員数と寄附金

会員区分	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
スペシャルサポーター（法人）	1 件 50 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円	2 件 100 万円	1 件 50 万円
サポーター（法人）	31 件 340 万円	20 件 210 万円	17 件 180 万円	17 件 180 万円	20 件 210 万円
スペシャルパートナー（個人）	32 件 162 万円	33 件 218 万円	28 件 149 万円	16 件 103 万円	23 件 105 万円
パートナー（個人）	45 件 90 万円	52 件 104 万円	48 件 96 万円	50 件 100 万円	45 件 90 万円
少 額 寄 付	— —	— —	— —	— —	1 件 1 万円
合 計	109 件 642 万円	107 件 632 万円	95 件 525 万円	85 件 483 万円	90 件 456 万円

5 中長期的な運営に向けた取組

京都コンサートホールの中長期的なホール運営や事業について助言をいただくことを目的として、文化芸術分野に加え、広報や経営、教育、行政、観光などの専門家による外部委員で構成した「京都コンサートホール運営協議会」を新たに設置しました。

第1回の協議会では、「インバウンド集客に向けた取組」と「クラウドファンディングの活用」についての助言をいただきました。

■ 地域文化会館

（東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、北文化会館、右京ふれあい文化会館）

I 主催事業〔全45事業55公演5講座（うち中止3事業3公演）〕

地域文化会館はそれぞれの地域における文化芸術振興のハブとなる拠点であり、地域の様々な文化芸術活動の受け皿となる施設であります。

それぞれの地域の実情や市民のニーズに応じて、それらの活動に対する支援や、情報発信を行うことで、誰もが気軽に文化芸術を親しめる環境を整えています。

地域文化会館が有するコーディネート力により、地域の文化芸術・伝統芸能の情報収集や発信等を行い、地域との関わりを強化し、地域文化会館が地域の中心となって、文化芸術に根ざした心豊かなくらしを実感できるような取組を推進しました。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催

地域文化芸術活動活性化協議会からの助言や意見交換を行い、地域の文化芸術活動の活性化に向け、地域の文化芸術活動団体・個人と協同し、文化事業を実施しました。

令和5年度は西文化会館ウエスティにおいて、Calze da strada Concertoの協力のもと、「ウエスティ・パフォーマンス広場“なんでもありのコンサート”」、右京ふれあい文化会館では、名作映画の上映会「京都・太秦キネマのまち～阪妻不世出の名作、「無法松の一生」～」を開催しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体、行政の代表者、教育機関の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域のまちづくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の5つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 地域における文化芸術普及事業
- ③ 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
- ④ 住民の文化芸術活動への支援型事業
- ⑤ 施設間の交流事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナーシップ団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラムである「教育プログラム」を実施しました。

呉竹文化センターでは、京・伏見音楽サークル和音が0歳児から大人までを対象に、手遊びやダンスを取り入れた演奏会「わおん夏の音楽会2023」

「和音クリスマスミニコンサート2023」を、また、北文化会館では、合唱団「葡萄の樹」が地域の中高校生を対象に、合唱の基礎を学ぶワークショップ「合唱のイントロダクション～合唱の本当のキソを身に付けよう～」を開催し、合唱の基礎となるハンドサインやハーモニー、日本語の歌い方等を楽しく学んでいただきました。

(参考) 令和5年度パートナーシップ団体

会 館 名	パートナーシップ団体
東 部 文 化 会 館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
北 文 化 会 館	合唱団「葡萄の樹」
右京ふれあい文化会館	RAM吹奏楽団

※ 文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が、協働して地域の文化芸術を活性化することを目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 地域における文化芸術普及事業

ア 伝統的芸術文化の紹介

現代に受け継がれる伝統芸能等を紹介する場を設け、広く発信することで、保存・活動団体等の活動支援を行い、市民が伝統芸能等への理解を深める機会とするため、公演及びワークショップを開催しました。呉竹文化センターでは、前年度に好評を博した国の重要無形文化財に指定されている琉球舞踊の実演と体験ワークショップによる「琉球舞踊をたのしもう」を再演し、北文化会館では、プロの噺家による質の高い伝統話芸の伝統芸能鑑賞会「北文



秋の落語会」、右京ふれあい文化会館では、わかりやすい解説とワークショップを交えた伝統芸能シリーズ「地域みんなの狂言鑑賞会」、をそれぞれ開催しました。

(参考) 令和5年度の伝統芸能公演ラインナップ

会 館 名	タイトル	内 容
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	日本の伝統芸能との出会い 「琉球舞踊を楽しもう」	国の重要無形文化財指定の琉球舞踊 の実演と体験のワークショップ
北 文 化 会 館	伝統芸能鑑賞会 「北文 秋の落語会」	笑福亭松喬、桂三風、桂歌之助、桂吉の 丞、林家染八による5席の落語を披露
右京ふれあい文化会館	伝統芸能シリーズ 「地域みんなの狂言鑑賞会」	小学生を対象とし、狂言の解説とワ ークショップを交えた鑑賞会

イ アウトリーチ事業

活動団体（文化芸術活動団体）を主催団体（学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業については、活動団体と地域文化会館が連携し、地域の文化芸術の振興に向けて取り組みました。呉竹文化センターでは、龍谷大学落語研究会が地域社会福祉協議会が主催する催しでの公演を開催しました。また、右京ふれあい文化会館では、京都アマチュアマジシャンズクラブによる地域児童館公演、パートナー団体であるRAM吹奏楽団が、地域社会福祉協議会が主催する催しでの依頼演奏など、地域の文化芸術の振興に寄与しました。



(3) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業

ア 地域の教育機関との連携

京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携して才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティで「ウエスティ音暦（おとごよみ）」2公演、北文化会館で「文化会館コンサート」2公演を開催しました。また、東部文化会館では、京都橘大学と連携し、文化芸術の振興に寄与する人材の育成を目的とした「文化芸術による地域貢献プロジェクト」を引き続き実施しました。



イ 子どもを対象とした体験型事業



次世代の文化芸術活動を担う子どもたちが劇場という場を体験し、多様な芸術表現に触れ、豊かな感性と創造性を身につけるための事業として、西文化会館ウエスティでは「夏休みウエスティたんけんツアー」を実施し、バックステージツアーでは舞台音響・照明の操作体験を提供しました。

(4) 住民の文化芸術活動への支援型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）

市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、令和5年度も引き続き、北文化会館で「市民創造ステージ」を、東部文化会館では、地域との連携・協働による参加型事業として、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場とする「第18回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。



イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援



地域ネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上への支援を行う西文化会館ウエスティの「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催しました。

ウ 創作文化活動の作品展示

賑わいスペースの創出として、東部文化会館では「ギャラリーエコム」、呉竹文化センターでは「くれたけミニギャラリー」、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ ギャラリー」、北文化会館では「KITABUNミニギャラリー」、右京ふれあい文化会館では「右京ふれあいミニギャラリー」を通年で開催し、創作文化活動を行う、個人・団体に作品展示の場を無料で提供しました。

エ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の発表の場において芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートでの照明・音響演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを行いました。

(5) 施設間の交流事業

ア 鑑賞型事業の実施

京都市交響楽団と連携し、文化会館5館において低料金で0才から入場できる「京都市交響楽団 ZERO歳からのみんなのコンサート2023」を開催し、乳幼児をもつ世代が子どもと一緒に、気兼ねなく生演奏に触れ、音楽を楽しむ機会を提供しました。

イ 乳幼児、幼児向けの公演の実施



ロームシアター京都との連携事業であるシアターデビュー促進プログラムでは、東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティの3館で海外からの招聘作品「子犬のバーニー～幸せを探して～」、北文化会館、右京ふれあい文化会館の2館では国内作品「イタズラ猫のお手伝い」を各館でそれぞれ2公演開催し、子どもたちの創造性を豊かにするとともに、親子で舞台芸術に触れる機会を提供しました。

ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都コンサートホールとの連携事業で京都市交響楽団の楽団員等が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」においては、音楽活動を充実させるため、練習会場として各地域文化会館を活用するとともに、右京ふれあい文化会館では、「ミュージック・サマー・コンサート」を開催し、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりを行いました。

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事 業 数	50 事業	55 事業	53 事業	45 事業
公 演 数	68 公演	67 公演	69 公演	55 公演
講 座 数	7 講座	8 講座	7 講座	5 講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まない。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、

令和2年度はうち中止14事業37公演1講座、延期16事業9公演5講座、

令和3年度はうち中止11事業14公演3講座、延期1事業1講座、

令和4年度はうち中止1事業2公演、

令和5年度はうち中止3事業3公演。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業活動を強化するとともに割引制度による利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数（ホール）数値	43,127 名	10,445 名	19,208 名	33,661 名	37,154 名
利 用 料 金 収 入 額	30,775 千円	15,722 千円	23,808 千円	29,019 千円	27,458 千円
駐車場利用料金収入額	3,955 千円	2,128 千円	2,472 千円	3,354 千円	3,435 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	62 %	62 %	55 %	64 %	64 %
利用率（日数）の実績値	64 %	36 %	59 %	59 %	55 %
目 標 達 成 度	103.2 %	58.1 %	107.3 %	92.2 %	85.9 %

呉竹文化センター

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数（ホール）数値	59,884 名	17,079 名	30,460 名	48,605 名	58,269 名
利 用 料 金 収 入 額	37,665 千円	22,385 千円	32,059 千円	40,093 千円	43,028 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	78 %	75 %	77 %	75 %	75 %
利用率（日数）の実績値	74 %	42 %	67 %	74 %	79 %
目 標 達 成 度	94.8 %	56.0%	88.3%	98.7 %	105.3 %

西文化会館ウエスティ

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数（ホール）数値	34,678 名	9,533 名	16,721 名	26,337 名	27,058 名
利 用 料 金 収 入 額	31,098 千円	16,172 千円	25,071 千円	29,516 千円	27,746 千円
駐車場利用料金収入額	5,002 千円	1,760 千円	2,742 千円	4,238 千円	4,931 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	62 %	62 %	62 %	62 %	62 %
利用率（日数）の実績値	60 %	41 %	63 %	61 %	55 %
目 標 達 成 度	96.7 %	66.1%	101.6 %	98.4 %	88.7 %

北文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数（ホール）数値	35,666 名	9,111 名	17,089 名	29,168 名	32,590 名
利 用 料 金 収 入 額	38,125 千円	19,759 千円	29,320 千円	37,013 千円	38,345 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	77 %	39 %	67 %	77 %	75 %
目 標 達 成 度	96.2 %	48.8 %	83.8 %	96.3 %	93.8 %

右京ふれあい文化会館

ア 入場者数及び利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数（ホール）数値	41,727 名	12,842 名	24,123 名	34,921 名	38,667 名
利 用 料 金 収 入 額	33,630 千円	20,417 千円	29,513 千円	35,827 千円	38,731 千円
駐車場利用料金収入額	4,285 千円	1,935 千円	2,888 千円	4,044 千円	5,429 千円

イ 日数利用率（ホール）

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用率（日数）の目標値	76 %	74 %	78 %	69 %	69 %
利用率（日数）の実績値	69 %	46 %	63 %	71 %	64 %
目 標 達 成 度	90.7 %	62.2 %	80.8 %	102.9 %	92.8 %

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術、舞台音響、舞台照明等に関する企画業務を受託しました。これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し、利用者はもとより、観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）令和5年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
右京ふれあい文化会館	3 件	ダンス発表会、学芸会等	33,000 円

2 お客様へのサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会等を開催しました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 8 ページ参照

(3) 施設・設備の維持管理

各施設ともに、開館から数十年が経過しているため、施設の所有者である京都市による施設の改修及び修繕のほか、財団でも、京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修並びに修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例（財団実施分）

会 館 名	修 繕 内 容
東 部 文 化 会 館	AHU-4ダンパー操作器修繕
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	トイレ照明LED化修繕
西文化会館ウエスティ	駐車場スペースサイン引き修繕
北 文 化 会 館	楽屋、主催者控室、会議室1・2 天井灯修繕
右京ふれあい文化会館	創造活動室照明取替修繕

3 利用促進向上の取組

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）及びロームシアター京都（メインホール・サウスホール）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は、通常利用料金の50%を割引く制度。

(参考) 令和5年度 平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	9 件	バレエ教室、ダンス教室、学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	0 件	
西文化会館ウエスティ	1 件	バレエ教室、音楽団体等
北 文 化 会 館	6 件	ダンス教室、合唱団体、音楽団体等
右京ふれあい文化会館	6 件	音楽団体、演劇関係等
計	22 件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、通常利用料金の15%を割引く制度。

(参考) 令和5年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東 部 文 化 会 館	30 件	幼稚園、保育園、学校関係等
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	79 件	学校関係、幼稚園、演劇関係等
西文化会館ウエスティ	64 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
北 文 化 会 館	99 件	学校関係、幼稚園、バレエ教室等
右京ふれあい文化会館	54 件	ダンス教室、バレエ教室等、音楽教室等
計	326 件	

■ ロームシアター京都

I 主催・共催事業〔43事業117公演14講座〕

ロームシアター京都は、開館以来掲げる「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、より一層、自主事業の推進に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を行いました。

令和5年度のラインアップテーマは「出会いの旅路、その交点」。プログラムには、「さまざまな時代/地域/ジャンル」で紡がれてきた文化や先人の表現を踏まえた歴史性に根差した視点と、そこから飛躍した現代的な視点が交わり、同居する舞台が揃いました。

1 主催・共催事業関連

（1）交流事業

海外アーティストによる上演、国際交流を促進する取組は、スコットランド、オーストラリア、フランス、ギリシャからの舞台が来日しました。太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）、ディミトリス・パパイオアヌーの招聘といった世界水準の演目によって、「文化の殿堂」としての存在感を発揮しました。太陽劇団は、22年ぶり2度目の来日にして初の関西公演となりました。『金夢島』は、日本と思しき架空の島を舞台に、謀略と権力闘争、演劇祭を巡る虚々実々、愛と哀しみの人間模様が、演劇的な表現様式を駆使して描かれました。ディミトリス・パパイオアヌーの最新作は、国内唯一の上演となり、全国的な注目を集め、シュールレアリスムの美学に満ちた詩的世界が展開しました。また、京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡に終了しました。

（2）創造事業

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開しました。これまでも話題作を生み出してきた「レパートリーの創造」では、アーティスト高谷史郎による新作パフォーマンス『Tangent（タンジェント）』を上演しました。本作では、マクロ／ミクロのスケールを行き来しながら、物質や空間、音や光、色彩がそれとして知覚されるうえでの境界の在り方に着目しました。なお、本作品は、好評を得て、欧州文化首都タルトゥ2024（エストニア）、ヴェネチア（イタリア）での巡演が決まっています。

子ども向けプログラムではスコットランドから演出家や舞台美術家、パフォーマーを迎え、ロームシアター京都で最終クリエーションを行った、『ペック』を世界初演しました。京都公演後、那覇、北九州、山口でも上演が行われ、令和6年度も引き続き、神奈川、愛知、大阪（高槻）での上演が計画されています。平成30年度事業で製作した、木ノ下歌舞伎による『糸井版 摂州合邦辻』の岩手・北上公演[主催：一般財団法人

北上市文化創造]、滋賀・大津公演[主催：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール]も実施し、ローマシアター京都発のプロダクションを他地域にも届けました。

(3) 育成事業

開館当初より継続する「小澤征爾音楽塾」や「新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校プロジェクト」、「リサーチプログラム」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。令和3年度から開始した「芸能の在る処～伝統芸能入門講座～」においては、「狂言」、「落語」、「浪曲」のジャンルを取り上げ、観客の開拓や育成・普及啓発に取り組みました。京都芸術センターと協働して行う創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたしー劇場の仕事ー」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

(4) 生活事業

夏の「プレイ！シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者向けの公演を上演し、生活と密着したプログラムを展開しました。また、京都市立芸術大学と協働し、「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会」を実施しました。ボランティアスタッフを募り、運営に参画いただきました。劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。

【主な事業】

● 演劇

- ・《継承と創造》「魅する舞金剛」金剛流能『石橋』 / 舞囃子『乱』『雪』
- ・プレイ！シアター in Summer 2023<ステージプログラム>
アンディ・マンリー『ペック』
- ・第365回～第369回 市民寄席
- ・劇艶おとな団プロデュース『9人の迷える沖縄人～after' 72～』
- ・シス・カンパニー公演『帰ってきたマイ・ブラザー』
- ・老いと演劇 OiBokkeShi 『レクリエーション葬』
- ・太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）『金夢島 L' ÎLE D' OR Kanemu-Jima』
- ・穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース『たわごと』
- ・オル太『ニッポン・イデオロギー』



● 舞踊

- ・川口隆夫『バラ色ダンス 純粋性愛批判』
- ・ディミトリス・パパイオアヌー『INK』
- ・Co.山田うん『In C』
- ・レパートリーの創造 高谷史郎『Tangent（タンジェント）』
- ・akakilike 『家族写真』



● 音楽

- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2023
モーツァルト：歌劇『魔笛』全2幕
- ・Sound Around 003 出演：日野浩志郎、古舘健、藤田正嘉、谷口かな、前田剛史
- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXX
モーツァルト：歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』
- ・goat 10 year anniversary スペシャルライブ



- 総合
- 参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム
- ・ 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2023
- ・ ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”
- ・ ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
- ・ プレイ！シアター in Summer 2023<オープンデイ>
- ・ 岡崎活性化企画 OKAZAKI PARK STAGE 2023
- ・ ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語らい、いろいろ焼いて食べる会
- ・ 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・ 劇場の学校





2 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和5年度においても、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでなく、より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、生活文化等に関わる様々な文化イベントを実施しました。

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店	午前8時から午後8時
	スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前11時から午後10時
キオスク (サウスホール1階 ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後8時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前10時から午後5時 (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により、変更の場合あり。

実績 入店者数

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入店者数の実績値	1,708,053 名	1,125,605 名	1,266,065 名	1,732,889 名	1,745,810 名

3 ミュージックサロン事業

音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」(パークプラザ3階)を、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同運営しています。①音楽その他文化芸術に関する資料の展示、②セミナー、講演会、コンサート等の文化芸術イベントの開催を中心としており、令和5年度も約5箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート」3回と「小澤征爾音楽

塾展トーク&コンサート」1回をオンライン配信（ライブ、アーカイヴ）し、多くの方にお届けしました。

	事業日	事業名・内容等
1	4月2日（日）	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 上村文乃 2つのチェロで巡る時の旅 出演者：上村文乃（チェロ）、田添菜穂子（司会）
2	9月5日（火）	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 松本和将 露西亜～愁いのメロディ 出演者：松本和将（ピアノ）、田添菜穂子（司会）
3	9月13日（水）～ 12月3日（日）	【展示】 オペラの扉2023 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ 悪女と悪党展 「悪女と悪党展」と題し、新国立劇場の制作したオペラに登場するキャラクターの中から悪女・悪党たちにスポットをあて、彼らの作中での人物像や聴きどころのアリアなどを、舞台写真や衣裳、舞台装置模型等と共に紹介。
4	2024年 1月15日（月）～ 3月17日（日）	【展示】 小澤征爾音楽塾展2024 歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』誕生の背景、あらすじをわかりやすく解説した内容から、音楽塾のオペラ演出を長年務めるデイヴィッド・ニースによる演出、世界的デザイナー ロバート・パージョーラの舞台装置・衣裳デザインなどプロダクションの魅力を中心に展示。
5	2024年 2月22日（木）	小澤征爾音楽塾展トーク&コンサート ～元塾生のNHK交響楽団メンバーが送る弦楽三重奏による「バッハ/ゴルトベルク変奏曲」の世界～ 出演者：大宮臨太郎（ヴァイオリン）、横溝耕一（ヴィオラ）、 宮坂拓志（チェロ）、田添菜穂子（司会）
6	2024年 3月23日（土）	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 石原悠企&木口雄人 ストラヴィンスキーとプロコフィエフ それぞれの挑戦と運命 出演者：石原悠企（ヴァイオリン）、木口雄人（ピアノ）、 岩崎理衣（司会）

実績 来場者数

区分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来場者数の実績値	9,440 名	—	2,343 名	2,970 名	3,366 名

Ⅱ 受託事業

1 指定管理業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

令和5年度のロームシアター京都では、各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用があり、多くの方々にご来場いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう、利用者やお客様のご案内、場内サービス、各種設備の運転等について、実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた改善を引き続き進め、安全、安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

特に各ホールの利用者に対しては、下見や利用相談への丁寧な対応、利用者アンケートの実施等により、繰り返しロームシアター京都をご利用いただけるよう利用促進に取り組みました。また、ノースホールでは利用日まで3箇月を切った日程の利用に限り、「練習等のみを目的とした利用」を、「準備・練習」料金でご利用いただける、新しい制度の運用を開始しました。

なお、ロームシアター京都は、一般財団法人地域創造が主催する地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰する「令和5年度地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞しました。

実績1 利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用料金収入の目標値	328,000 千円	351,389 千円	346,296 千円	339,994 千円	340,634 千円
利用料金収入の実績値	333,812 千円	136,254 千円	274,933 千円	343,413 千円	339,363 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	38.8 %	79.4 %	101.0 %	99.6 %

実績2 入場者数

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入場者数の目標値	510,000 名	520,000 名	330,000 名	330,000 名	500,000 名
入場者数の実績値	497,784 名	76,076 名	210,564 名	332,861 名	352,568 名
目 標 達 成 度	97.6 %	14.6 %	63.8 %	100.9 %	70.5 %

実績3 日数利用率

区 分		平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
メイン ホール	利用率(日数)の目標値	83 %	81 %	82 %	82 %	81 %
	利用率(日数)の実績値	81 %	49 %	63 %	82 %	77 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	60.5 %	76.8 %	100 %	95.1 %
サウス ホール	利用率(日数)の目標値	82 %	78 %	76 %	76 %	80 %
	利用率(日数)の実績値	80 %	46 %	63 %	73 %	79 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	59.0 %	82.9 %	96.1 %	98.8 %
ノース ホール	利用率(日数)の目標値	75 %	76 %	74 %	74 %	72 %
	利用率(日数)の実績値	72 %	59 %	67 %	78 %	78 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	77.6 %	90.5 %	105.4 %	108.3 %

（２）岡崎公園の利用受付業務

ロームシアター京都に隣接する岡崎公園の利用受付等に関する業務を京都市より受託し、申請書の受付等の業務を行いました。

２ お客様へのサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）や研修等の実施

利用者・来場者の安心・安全を確保し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上のため、職員や委託業者が参加するCS（顧客満足度向上）委員会等を開催しました。

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール ８ページ参照

（３）賑わいスペース事業者定期連絡会の開催

賑わいスペース事業における各店舗の責任者等との定期的な連絡会を開催し、日常的な施設運営に係る様々な情報共有を行い、サービスの向上に努めました。

（４）施設・設備の維持管理

リニューアルオープンから８年目を迎え、施設・設備も補修や修繕が必要となってきたことから、施設としての機能を適切に維持するため、空調、照明などの各種設備を集中監視・制御するための中央監視盤装置のUPS（無停電電源装置）及び交換推奨時期超過のためバッテリーの取替修繕を実施したほか、利用者や観客、また、スタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいます。所有者である京都市による施設・設備の修繕のほか、財団においても京都市との指定管理契約に基づき、修繕や機能向上に取り組みました。

（参考）主な修繕・機能向上等事例（財団実施分）

修 繕 ・ 機 能 向 上 内 容
中央監視盤装置UPS及びバッテリー取替修繕
サウスホール舞台調光装置弱電盤卓直流電源修繕
賑わい棟1F多目的トイレ機能不良修繕

３ 広報・宣伝、チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務

主催事業ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組、また、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

加えて、企業からの協賛金や以前より獲得してきている文化庁等の助成金にも積極的に申請し、各種助成金獲得へ向けた取組強化を行いました。また、平成２６年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても、引き続き新規の会員獲得に取り組む

とともに、令和7年度に向けた制度改革の検討を進めるなど、外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り、積極的な事業展開につなげています。

（１）主催事業ラインアップ・リーフレットの発行

平成29年度から引き続き、主催事業ラインアップを事業の趣旨に分類して紹介するレイアウトで構成し発行しました。

（２）催物カレンダーの発行

ロームシアター京都が自ら企画する主催・共催事業のほか、ロームシアター京都で開催される最新の催物情報を掲載したものを毎月発行し、催物情報の提供やチケット販売促進に努めました。



ア 主催事業ラインアップ・リーフレット

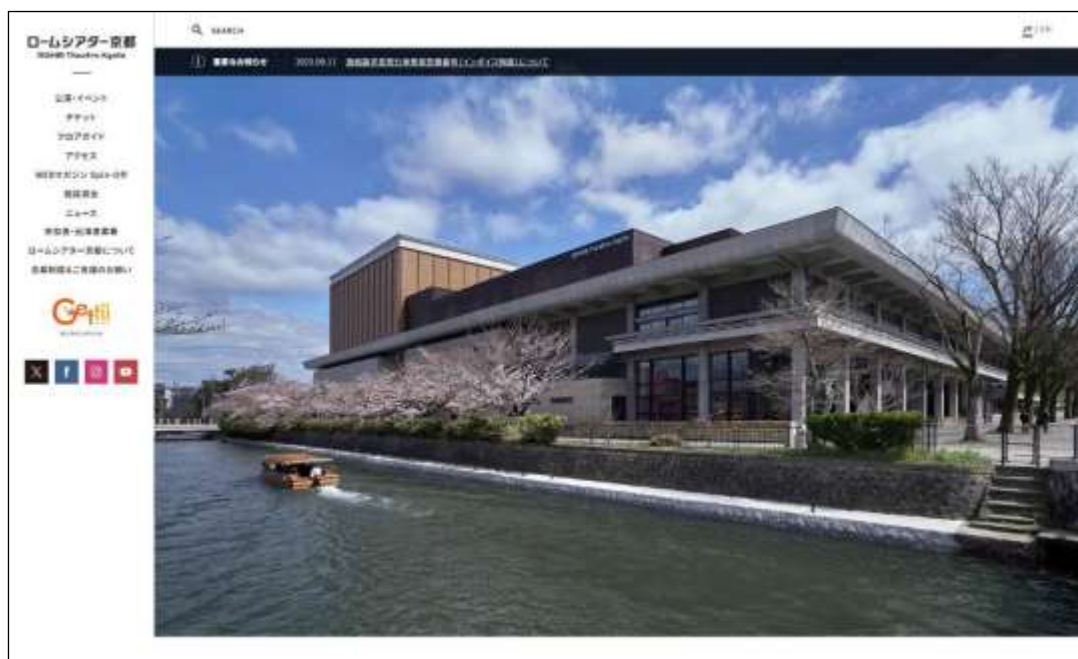


イ 催物カレンダー



(3) ホームページ等の充実

ホームページについては、アクセス分析等を踏まえ、適宜仕様変更を行いました。また、FacebookやX（旧Twitter）等のSNSも活用し、効果的な情報提供に努めました。



(4) チケット販売業務における利便性向上への取組【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

(5) 貸館利用者のチケット販売受託業務の実施【再掲】

京都コンサートホール 10 ページ参照

4 各種会員制度の運営

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組【再掲】

京都コンサートホール 11 ページ参照

(2) 賛助会員制度の運営【再掲】

京都コンサートホール 12 ページ参照

5 中長期的な運営に向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的として、文化政策や劇場管理、舞台芸術に携わる専門家などの外部委員により構成した「ロームシアター京都運営懇談会」を新たに設置しました。第1回会議では、劇場運営等への助言をいただきました。

■ 京都市交響楽団

I 主催・共催事業

〔全27事業47公演〕

1 定期演奏会

令和5年4月から第14代常任指揮者に就任した沖澤のどか指揮の定期演奏会を4月、9月、1月に開催し、いずれも多くの方にご来場いただきました。その他、巨匠から実力派、新進気鋭の若手まで幅広く指揮者やソリストを招き、古典から近・現代まで魅力ある楽曲を数多く揃え、芸術性高く充実した演奏を提供しました。また、令和4年度から開催している「フライデー・ナイト・スペシャル」については、定期演奏会を2日開催する回の1日目の全公演で開催し、さらなる集客拡大を図りました。



2 特別演奏会

恒例のスプリングコンサート、第九コンサート、ニューイヤーコンサートを開催し、充実した出演者と心躍る楽曲により、時節を彩る演奏をお届けしました。

3 市外公演

5月に大阪公演、名古屋公演を広上淳一指揮により実施、また9月には新常任指揮者沖澤のどか指揮による東京での就任披露公演を実施し、日本屈指の演奏力と評される京響の知名度や評価の全国区での更なる浸透を図りました。



(大阪公演 (ザ・シンフォニーホール))



(名古屋公演 (愛知県芸術劇場))



(東京公演(サントリーホール))

4 オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～

「みんな集まれ、オーケストラ」と題して、オーケストラやクラシック音楽が持つ魅力を名曲の演奏と楽しいお話でご案内しました。青少年の情操の向上や健全な心の育成とともに、若い世代へのオーケストラの振興と普及を図ることを目的として、定期演奏会の会員への導入コンサートとしての位置づけで開催し、将来のクラシック愛好家を育みました。

5 みんなのコンサート

地域文化会館を会場に低料金かつ全6公演とも0歳から入場できる演奏会を開催し、日頃クラシック音楽に触れる機会の少ない市民の皆様にも身近で生の演奏に接する機会を提供し、地域密着型のオーケストラとしてクラシック音楽の普及、クラシック音楽ファンの醸成、京響ファンの獲得を図りました。

6 ロームシアター京都及び地域文化会館との連携事業

芸術文化とのコラボレーションによる演奏会を開催し、オーケストラの生み出す新しい音楽世界の魅力を提供することにより、幅広いオーケストラファンの獲得を図りました。

また、地域文化会館が実施する市内総合支援学校におけるアウトリーチ事業に協働で取り組み、地域の文化芸術の振興を図りました。

7 共催事業

京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室は通常どおり5日間10公演を開催、中学生対象については、1日のみの2公演を開催することができ、クラシック音楽の普及とクラシックファン醸成、京響ファンの獲得を図りました。

8 その他演奏会等

(1) 楽器講習会等

今年度は長らく新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた中学生対象の楽器講習会が開催することができました。

高校生についても楽器の実技指導や音楽全般に関する指導・助言を行いました。



(2) 京響コーラス

5月定期、8月定期、第2回オーケストラ・ディスカバリー及び第九コンサートの計4回の演奏会で京都市交響楽団と共演しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ

8月のサマーコンサートと1月の定期コンサートに向けて、楽団員によるジュニアオーケストラメンバーへの直接指導を行いました。コンサートも含めた一連の活動を通して、若い演奏家たちに演奏技術の向上や文化芸術を通して相互理解を図る貴重な機会を提供するとともに、一般の方々に未来を担う若い世代の演奏を鑑賞する機会を提供しました。

(4) 派遣（アンサンブル）演奏



京都市会での演奏をはじめ、京都市が開催する行事や依頼に基づくイベント等において、少人数の編成での演奏を行い、新たなファンの獲得に向けた取組を行いました。

9 京響友の会

新型コロナウイルス感染症における社会状況を鑑み、令和3年度に1年間会員募集を休止し、令和4年度に会員構成を改定のうえ募集を再開した「チケット会員」、「スポンサー会員」、「寄附会員」には、令和5年度も多くの方々にご入会いただきました。会員の皆様には友の会機関紙の送付や定期演奏会等のチケットの割引価格での先行購入の案内等を行いました。

Ⅱ 受託事業

「高槻城公園芸術文化劇場開館記念演奏会」「京響福山演奏会」の実施など、京都市交響楽団の京都市外での知名度の向上を図るとともに、より充実した主催事業を実施するための資金を獲得するため、びわ湖ホール主催のオペラなど、24事業40公演を受託しました。

■ その他

I 組織人員体制・配置等の最適化

令和5年度は、管理運営施設の経営を総合的かつ安定的に展開するとともに、「中期経営計画2025」に掲げる目標の達成に向けた取組を推進してまいりました。

京都コンサートホール及び地域文化会館は、指定管理者としての初年度を迎え、ロームシアター京都については、8年間の指定管理者として後期期間のスタートの年度となるに当たり、より適切な施設管理及び安定的な運営が推進できる体制を整えました。

組織体制を見直し、全体として効率化を図るとともに、施設間、所属間、所属内の連携をより一層高め、財団全体としての能力を最大限発揮できるよう、体制整備を行いました。

1 組織運営

以下の会議の定例的な開催により、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた主催事業の展開等について検討しました。

＜定例的に開催した主要な会議＞

財団定例会、文化会館運営会議、ロームシアター京都定例会、京都市交響楽団定例会

2 人事異動

令和5年4月1日付けで総数46名の人事異動を行いました。

（参考1）財団職員数の推移

職 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般職員（総合職）	47 名	47 名	49 名	44 名
一般職員（楽団職）	81 名	81 名	81 名	83 名
嘱 託 職 員	48 名	47 名	51 名	53 名
市からの出向職員	6 名	6 名	6 名	6 名
計	182 名	181 名	187 名	186 名

※各年度すべて4月1日現在の人数。

※一般職員（楽団職）については、定年再雇用楽団職員含む。

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
局 長 級	3 名	3 名	3 名	3 名
部 長 級	5 名	4 名	4 名	3 名
課 長 級	13 名	15 名	18 名	15 名
係 長 級	15 名	15 名	13 名	10 名
リ ー ダ ー (主 任)	11 名	13 名	13 名	14 名
職 員	54 名	50 名	55 名	58 名
音 楽 ス タ ッ フ	4 名	4 名	3 名	3 名
楽 団 員	77 名	77 名	80 名	80 名
計	182 名	181 名	187 名	186 名

Ⅱ 働きやすい職場づくりの推進

これまでの人事給与制度の運用を安定的に行うとともに、給与のベースアップを行うなど、どのような雇用形態の職員にとっても働きやすい職場環境づくりに努めました。

また、年次有給休暇の取得の促進や時間外労働の抑制を行うなど、柔軟な働き方ができる職場環境づくりに努めました。

Ⅲ 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

令和5年度は以下のとおり様々な研修を実施し、各職員のスキルアップや意識の改革をはかる機会を設けました。

また、各施設において消防訓練の実施など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、職員の緊急時における対応力・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

(参考) 令和5年度 研修内容

研 修 名	管理職（人事評価者）研修
実 施 日	令和5年7月4日（火）
受 講 人 数	21名
研 修 内 容	研修「管理職（人事評価者）研修」 講師 株式会社Consulente HYAKUNEN 上野 佐保 氏
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上

研 修 名	接客マナー研修
実 施 日	令和5年7月25日（火）
受 講 人 数	48名
研 修 内 容	研修「接客マナー研修」 講師 株式会社Consulente HYAKUNEN 上野 佐保 氏
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上
研 修 名	経理研修
実 施 日	令和5年9月19日（火）
受 講 人 数	28名
研 修 内 容	研修「経理研修」 講師 公認会計士・税理士 山田 陽子 氏
会 場	京都市北文化会館 会議室
研 修 名	ハラスメント研修
実 施 日	令和6年2月21日（水） 令和6年2月26日（月） 令和6年3月13日（水）
受 講 人 数	計144名
研 修 内 容	研修「ハラスメント研修」 講師 公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック 山本 陽子 氏 加藤 理英 氏
会 場	京都コンサートホール 大ホール舞台上 京都市交響楽団練習場 合奏場
研 修 名	外部研修
実 施 日	令和5年12月12日（火）ほか
受 講 人 数	23名
研 修 内 容	「中堅職員研修」 「中堅職員向けオーナーシップ研修」 「部下とのコミュニケーション実践研修」 「(若手向け) 仕事の進め方研修」 「(若手向け) コミュニケーション研修」 「チラシ／WEBデザイン研修」 「クレーム対応研修」 「ビジネスマナー研修」 主催 株式会社インソース
会 場	株式会社インソース大阪支社 セミナールーム

IV 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、令和6年1月に継続認証を取得しました。

また、エネルギー削減を行うため、施設内の適正冷暖房の設定及び不必要な電灯の消灯等の取組を徹底してまいりました。

V ファンドレイジング及びICT環境整備による財務の合理化の推進

より安定的な財源の確保を目指して、公的、民間を問わず外部資金の獲得の強化に努めました。

また、ICTの活用により、顧客サービスの向上と事務作業の負担軽減の両立を目指し、財務の合理化を引き続き、推進してまいります。

VI 京都市交響楽団ビジョン及び「中期経営計画2025」の進捗管理

令和5年度においても「京響ビジョン」の5つの戦略の推進に向けて、京都市との協議・連携のもと、財政・人的支援の確保を行い、京都市交響楽団の安定的な運営の実現に向け取組を進めてまいりました。また、令和3年度末に新たに策定した「中期経営計画2025」に基づき、計画に掲げる5つの経営方針の推進にも取り組みました。

VII 庶務報告

1 役員会の開催

令和5年度は、次のとおり理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会 令和5年5月18日

- <議案>
- ・令和4年度事業報告について
 - ・令和4年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
 - ・令和4年度補正予算について
 - ・令和4年度決算について
 - ・令和5年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
 - ・顧問の選任について
 - ・京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)実行委員会への債務保証について
- <報告>
- ・「京響友の会」元会員から提起された訴訟について

(2) 第1回評議員会 令和5年6月8日

- <議案>
- ・令和4年度事業報告について
 - ・令和4年度決算について
 - ・定款の変更について
 - ・役員報酬規程の改正について

- ・理事及び評議員の辞任について
- ・理事の選任について
- ・評議員の選任について

（３）第２回理事会 令和５年６月８日

（書面評決）

- ＜議案＞
- ・業務執行理事（常務理事）の選定について
 - ・常勤役員（業務執行理事）の報酬額の決定について
 - ・理事の職務権限規程の改正について

（４）第３回理事会 令和５年７月１８日

（書面評決）

- ＜議案＞
- ・令和５年度第２回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

（５）第２回評議員会 令和５年８月１日

（書面評決）

- ＜議案＞
- ・評議員の辞任について
 - ・評議員の選任について

（６）第４回理事会 令和５年１１月１０日

- ＜議案＞
- ・令和６年度主要事業計画について
- ＜報告＞
- ・代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について

（７）第５回理事会 令和６年３月２８日

- ＜議案＞
- ・令和６年度事業計画について
 - ・令和６年度収支予算について
 - ・会長の選任について
- ＜報告＞
- ・代表理事及び職務執行理事の職務執行状況について
 - ・京都コンサートホール館長及びミュージックアドバイザーの任命について

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会による承認

ア 理事の就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	就 任 日
川 本 悟	前京都市音楽芸術文化振興財団事業管理部長	令和5年6月8日
砂 原 悟	京都市立芸術大学音楽学部長	令和5年6月8日
平 賀 徹 也	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	令和5年6月8日
松 田 規久子	京都新聞社編集局文化部編集委員	令和5年6月8日

イ 理事の辞任

氏 名	役 職 (退任日現在)	辞 任 日
阿 部 裕 之	前京都市立芸術大学音楽学部長	令和5年6月8日
砂 川 敬	前京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	令和5年6月8日

ウ 評議員の就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	就 任 日
砂 川 敬	京都市文化芸術政策監	令和5年6月8日
村 田 大 介	村田機械株式会社代表取締役社長	令和5年6月8日

エ 評議員の辞任

氏 名	役 職 (退任日現在)	辞 任 日
山 中 博 昭	前京都市文化芸術政策監	令和5年6月8日

(2) 第2回評議員会による承認

ア 評議員の就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	就 任 日
山 極 壽 一	公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	令和5年8月1日

イ 評議員の辞任

氏 名	役 職 (退任日現在)	辞 任 日
近 藤 誠 一	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	令和5年8月1日

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による理事及び評議員の変更

氏 名	登 記 日
評 議 員 砂 川 敬 評 議 員 村 田 大 介 理 事 川 本 悟 理 事 砂 原 悟 理 事 平 賀 徹 也 理 事 松 田 規久子	令和5年7月24日

(2) 第2回評議員会による評議員の変更

氏 名	登 記 日
評 議 員 山 極 壽 一	令和5年8月17日

Ⅷ 会議等への参画による情報収集

下記の会議等に参画することで、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報収集を行いました。

大都市文化振興財団等連絡会については、加盟している18団体において、各団体の持ち回りにて毎年度、幹事を務めることとなっておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、近年は中止やオンラインでの開催となっております。

そのような中、当財団が令和5年度の幹事団体を務めることとなりましたが、新型コロナウイルス感染症の5類に位置づけが変更となったことも受け、4年ぶりに対面での開催とし、加盟している全団体が全国の各都市から京都に集い、情報共有を行いました。

該当施設等	会 議 等
京都コンサートホール	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	コンサートホール企画連絡会議
	劇場、音楽堂等連絡協議会
ロームシアター京都	公益社団法人全国公立文化施設協会
	公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部
	京都府公立文化施設協議会
	劇場、音楽堂等連絡協議会
	公共劇場舞台技術者連絡会
京 都 市 交 響 楽 団	公益社団法人日本オーケストラ連盟
財 団	大都市文化振興財団等連絡会

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として、主に来館者向け駐車場を運営しました。

(参考)

会 館 名	駐車可能台数	収入金額
京都コンサートホール	100 台	15,776,010 円
東 部 文 化 会 館	37 台	3,435,700 円
西文化会館ウエスティ	53 台	4,931,300 円
右京ふれあい文化会館	67 台	5,429,700 円
計	257 台	29,572,710 円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ(16種類)、音楽に関連したグッズ(約30種類)、ロームシアター京都オリジナルグッズ(2種類)及び京響オリジナルグッズ(12種類)を販売しました。

(参考)

項 目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	500,486 円
ロームシアター京都グッズ収入	25,200 円
プログラム等販売収入	318,150 円
京響オリジナルグッズ収入	1,421,308 円
計	2,265,144 円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	161 件	17,252,943 円
東 部 文 化 会 館	0 件	0 円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	6 件	35,400 円
西文化会館ウエスティ	0 件	0 円
北 文 化 会 館	13 件	26,390 円
右京ふれあい文化会館	2 件	10,660 円
ロームシアター京都	94 件	8,556,292 円
計	276 件	25,881,685 円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会 館 名	収入金額
京都コンサートホール	25,941 円
ロームシアター京都	626,400 円
計	652,341 円

令和5年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	287,627,238	169,153,213	118,474,025
未収金	329,816,480	402,795,568	△ 72,979,088
貯蔵品	7,658,656	8,432,169	△ 773,513
立替金	5,298,916	2,536,504	2,762,412
前払金	0	898,570	△ 898,570
流動資産合計	630,401,290	583,816,024	46,585,266
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	56,920,000	56,920,000	0
管理運営引当資産	331,000,000	331,000,000	0
退職給付引当資産	167,720,663	172,164,335	△ 4,443,672
楽団職退職手当準備資金	173,310,713	131,310,713	42,000,000
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	32,000,000	0
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	40,000,000	0
京響70周年記念事業準備資金	103,500,000	85,500,000	18,000,000
ロームシアター京都事業準備資金	0	5,000,000	△ 5,000,000
楽器購入資金 (ハープ)	17,000,000	9,000,000	8,000,000
楽器購入資金 (コントラファゴット)	15,000,000	11,000,000	4,000,000
楽器購入資金 (コントラバス)	13,500,000	13,500,000	0
楽器購入資金 (チューバ)	6,000,000	0	6,000,000
特定資産合計	955,951,376	887,395,048	68,556,328
(3)その他固定資産			
什器備品	61,033,138	64,894,185	△ 3,861,047
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	61,347,508	65,208,555	△ 3,861,047
固定資産合計	1,120,298,884	1,055,603,603	64,695,281
資産合計	1,750,700,174	1,639,419,627	111,280,547
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	303,513,536	297,510,854	6,002,682
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	255,832,825	221,257,793	34,575,032
預り金	90,424,639	86,641,378	3,783,261
賞与引当金	38,475,633	34,292,076	4,183,557
流動負債合計	688,566,633	640,022,101	48,544,532
2. 固定負債			
退職給付引当金	167,720,663	172,164,335	△ 4,443,672
固定負債合計	167,720,663	172,164,335	△ 4,443,672
負債合計	856,287,296	812,186,436	44,100,860

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
京都市補助金	173,310,713	131,310,713	42,000,000
指定正味財産合計	228,310,713	186,310,713	42,000,000
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(173,310,713)	(131,310,713)	42,000,000
2. 一般正味財産	666,102,165	640,922,478	25,179,687
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(614,920,000)	(583,920,000)	31,000,000
正味財産合計	894,412,878	827,233,191	67,179,687
負債及び正味財産合計	1,750,700,174	1,639,419,627	111,280,547

令和５年度正味財産増減計算書

令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	355,000	355,000	0	
1 基本財産運用益	355,000	355,000	0	
基本財産受取利息等	355,000	355,000	0	
②特定資産運用益	333,392	24,375	309,017	
1 特定資産運用益	333,392	24,375	309,017	
特定資産受取利息等	333,392	24,375	309,017	
③事業収益	2,142,358,262	2,071,667,728	70,690,534	
1 自主・共催事業収益	572,310,041	550,838,963	21,471,078	
入場料収益	169,018,220	139,951,990	29,066,230	
参加料収益	2,339,500	1,567,300	772,200	
友の会会費	62,119,900	51,869,800	10,250,100	
京響コーラス会費	3,268,000	3,023,000	245,000	
広告料収益	49,768,750	13,851,000	35,917,750	
共催事業収益	116,757,755	155,052,903	△ 38,295,148	
助成金収益	166,045,000	182,996,034	△ 16,951,034	
物品販売等収益	2,237,964	1,600,764	637,200	
著作権隣接権等収益	754,952	926,172	△ 171,220	
2 事業受託収益	141,454,699	141,667,890	△ 213,191	
事業受託収益	141,454,699	141,667,890	△ 213,191	
3 管理受託収益	776,864,502	732,666,431	44,198,071	
管理受託収益	776,864,502	732,666,431	44,198,071	
4 利用料収益	609,032,193	606,884,971	2,147,222	
ホール利用料金収益	579,459,483	580,642,201	△ 1,182,718	
駐車場利用料金収益	29,572,710	26,242,770	3,329,940	
5 その他事業収益	42,696,827	39,609,473	3,087,354	
企画・演出手数料等収益	9,292,317	7,918,060	1,374,257	
賑わい事業収益	20,156,304	20,135,892	20,412	
プレイガイド事務手数料収益	13,248,206	11,555,521	1,692,685	
④受取補助金等	854,897,286	849,956,506	4,940,780	
1 受取地方公共団体補助金	854,897,286	849,956,506	4,940,780	
京都市補助金	854,897,286	849,956,506	4,940,780	
⑤受取寄付金	25,231,000	9,940,000	15,291,000	
1 受取寄付金	25,231,000	9,940,000	15,291,000	
寄付金収益	25,231,000	9,940,000	15,291,000	
⑥雑収益	24,315,982	34,974,606	△ 10,658,624	
1 雑収益	24,315,982	34,974,606	△ 10,658,624	
受取利息等	28	39	△ 11	
管理手数料等収益	10,328,572	9,194,665	1,133,907	
雑収益	13,987,382	25,779,902	△ 11,792,520	
経常収益合計	3,047,490,922	2,966,918,215	80,572,707	

令和 5 年度正味財産増減計算書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2,944,020,697	2,865,540,922	78,479,775	
役員報酬	6,133,183	3,251,423	2,881,760	
給料手当	1,044,768,492	1,049,547,194	△ 4,778,702	
賞与引当金繰入額	36,578,843	32,750,675	3,828,168	
退職給付費用	24,486,446	22,703,346	1,783,100	
臨時雇賃金	44,101,715	40,337,421	3,764,294	
福利厚生費	186,584,174	184,267,060	2,317,114	
会議費	0	480	△ 480	
旅費交通費	29,308,322	26,525,809	2,782,513	
通信運搬費	23,386,073	20,247,335	3,138,738	
減価償却費	7,795,637	12,421,255	△ 4,625,618	
消耗什器備品費	2,967,260	4,863,704	△ 1,896,444	
消耗品費	37,999,762	36,233,696	1,766,066	
商品費	1,073,057	1,175,206	△ 102,149	
見本費	12,727	3,224	9,503	
修繕費	35,787,936	29,756,795	6,031,141	
印刷製本費	35,729,713	32,440,918	3,288,795	
広告宣伝費	20,100,224	16,076,970	4,023,254	
光熱水料費	236,987,471	275,663,211	△ 38,675,740	
賃借料	69,774,879	61,512,847	8,262,032	
保険料	2,383,044	2,390,825	△ 7,781	
諸謝金	2,821,577	3,193,998	△ 372,421	
租税公課	65,538,822	63,772,579	1,766,243	
支払負担金	42,342,171	35,507,150	6,835,021	
チケット購入額	403,105	7,830	395,275	
委託費	974,005,339	901,668,686	72,336,653	
接遇交際費	22,825	16,500	6,325	
支払手数料等	11,215,344	7,893,799	3,321,545	
雑費	1,712,556	1,310,986	401,570	
②管理費	35,970,538	29,368,905	6,601,633	
役員報酬	4,710,929	2,652,529	2,058,400	
給料手当	15,546,111	13,569,635	1,976,476	
賞与引当金繰入額	1,896,790	1,541,401	355,389	
退職給付費用	862,876	717,423	145,453	
福利厚生費	4,925,373	3,484,723	1,440,650	
会議費	0	2,092	△ 2,092	
旅費交通費	202,260	193,360	8,900	
通信運搬費	59,089	37,556	21,533	
減価償却費	187,760	317,563	△ 129,803	
消耗什器備品費	0	198,000	△ 198,000	
消耗品費	967,040	1,103,485	△ 136,445	
修繕費	31,229	0	31,229	

令和 5 年度正味財産増減計算書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
印刷製本費	24,750	0	24,750	
保険料	252,880	250,340	2,540	
諸謝金	492,334	392,334	100,000	
租税公課	2,675,328	2,092,633	582,695	
支払負担金	937,500	707,000	230,500	
委託費	1,135,250	2,083,826	△ 948,576	
接遇交際費	20,000	20,000	0	
支払手数料等	1,041,419	5,005	1,036,414	
雑費	1,620	0	1,620	
経常費用合計	2,979,991,235	2,894,909,827	85,081,408	
当期経常増減額	67,499,687	72,008,388	△ 4,508,701	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	25,499,687	21,815,159	3,684,528	
法人税，住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	25,179,687	21,495,159	3,684,528	
一般正味財産期首残高	640,922,478	619,427,319	21,495,159	
一般正味財産期末残高	666,102,165	640,922,478	25,179,687	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	42,000,000	50,193,229	△ 8,193,229	
指定正味財産期首残高	186,310,713	136,117,484	50,193,229	
指定正味財産期末残高	228,310,713	186,310,713	42,000,000	
III 正味財産期末残高	894,412,878	827,233,191	67,179,687	

令和5年度正味財産増減計算書 内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
1 基本財産運用益	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
基本財産受取利息等	355,000	0	355,000	0	0	0	355,000
②特定資産運用益	333,392	0	333,392	0	0	0	333,392
1 特定資産運用益	333,392	0	333,392	0	0	0	333,392
特定資産受取利息等	333,392	0	333,392	0	0	0	333,392
③事業収益	1,502,503,228	380,737,492	1,883,240,720	431,868,196	35,970,538	△ 208,721,192	2,142,358,262
1 自主・共催事業収益	338,556,451	232,010,626	570,567,077	2,265,144	0	△ 522,180	572,310,041
入場料収益	81,643,220	87,375,000	169,018,220	0	0	0	169,018,220
参加料収益	2,339,500	0	2,339,500	0	0	0	2,339,500
友の会会費	3,486,000	58,633,900	62,119,900	0	0	0	62,119,900
京響コース会費	0	3,268,000	3,268,000	0	0	0	3,268,000
広告料収益	49,768,750	0	49,768,750	0	0	0	49,768,750
共催事業収益	103,034,981	14,217,774	117,252,755	0	0	△ 495,000	116,757,755
助成金収益	98,284,000	67,761,000	166,045,000	0	0	0	166,045,000
物品販売等収益	0	0	0	2,265,144	0	△ 27,180	2,237,964
著作隣接権等収益	0	754,952	754,952	0	0	0	754,952
2 事業受託収益	45,306,256	148,726,866	194,033,122	0	0	△ 52,578,423	141,454,699
事業受託収益	45,306,256	148,726,866	194,033,122	0	0	△ 52,578,423	141,454,699
3 管理受託収益	611,165,597	0	611,165,597	129,728,367	35,970,538	0	776,864,502
管理受託収益	611,165,597	0	611,165,597	129,728,367	35,970,538	0	776,864,502
4 利用料収益	507,474,924	0	507,474,924	239,643,350	0	△ 138,086,081	609,032,193
ホール利用料金収益	507,474,924	0	507,474,924	210,070,640	0	△ 138,086,081	579,459,483
駐車場利用料金収益	0	0	0	29,572,710	0	0	29,572,710
5 その他事業収益	0	0	0	60,231,335	0	△ 17,534,508	42,696,827
企画・演出手数料等収益	0	0	0	14,193,346	0	△ 4,901,029	9,292,317
賑わい事業収益	0	0	0	20,156,304	0	0	20,156,304
プレイガイト事務手数料収益	0	0	0	25,881,685	0	△ 12,633,479	13,248,206
④受取補助金等	0	848,756,565	848,756,565	6,140,721	0	0	854,897,286
1 受取地方公共団体補助金	0	848,756,565	848,756,565	6,140,721	0	0	854,897,286
京都市補助金	0	848,756,565	848,756,565	6,140,721	0	0	854,897,286
⑤受取寄付金	14,660,000	10,571,000	25,231,000	0	0	0	25,231,000
1 受取寄付金	14,660,000	10,571,000	25,231,000	0	0	0	25,231,000
寄付金収益	14,660,000	10,571,000	25,231,000	0	0	0	25,231,000
⑥雑収益	28	13,334,800	13,334,828	10,981,154	0	0	24,315,982
1 雑収益	28	13,334,800	13,334,828	10,981,154	0	0	24,315,982
受取利息等	28	0	28	0	0	0	28
管理手数料等収益	0	0	0	10,328,572	0	0	10,328,572
雑収益	0	13,334,800	13,334,800	652,582	0	0	13,987,382
経常収益合計	1,517,851,648	1,253,399,857	2,771,251,505	448,990,071	35,970,538	△ 208,721,192	3,047,490,922

令和5年度正味財産増減計算書 内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的の外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,499,587,359	1,206,719,175	2,706,306,534	446,435,355	0	△ 208,721,192	2,944,020,697
役員報酬	3,504,676	2,190,423	5,695,099	438,084	0	0	6,133,183
給料手当	261,649,395	667,150,214	928,799,609	115,968,883	0	0	1,044,768,492
賞与引当金繰入額	21,045,819	6,806,266	27,852,085	8,726,758	0	0	36,578,843
退職給付費用	15,882,069	3,492,258	19,374,327	5,112,119	0	0	24,486,446
臨時雇賃金	10,948,198	4,977,901	15,926,099	28,175,616	0	0	44,101,715
福利厚生費	48,375,710	113,262,087	161,637,797	24,946,377	0	0	186,584,174
旅費交通費	12,506,135	16,675,130	29,181,265	132,477	0	△ 5,420	29,308,322
通信運搬費	12,205,917	10,354,129	22,560,046	826,027	0	0	23,386,073
減価償却費	4,572,499	1,732,289	6,304,788	1,490,849	0	0	7,795,637
消耗什器備品費	1,637,357	531,322	2,168,679	798,581	0	0	2,967,260
消耗品費	20,258,791	10,830,690	31,089,481	6,973,461	0	△ 63,180	37,999,762
商品費	0	0	0	1,073,057	0	0	1,073,057
見本費	0	0	0	12,727	0	0	12,727
修繕費	22,674,361	6,427,201	29,101,562	6,686,374	0	0	35,787,936
印刷製本費	24,004,461	9,870,470	33,874,931	1,954,982	0	△ 100,200	35,729,713
広告宣伝費	13,910,268	6,136,222	20,046,490	53,734	0	0	20,100,224
光熱水料費	175,138,590	6,474,728	181,613,318	55,374,153	0	0	236,987,471
賃借料	112,773,096	90,132,013	202,905,109	2,029,980	0	△ 135,160,210	69,774,879
保険料	1,016,762	1,218,302	2,235,064	147,980	0	0	2,383,044
諸謝金	621,764	935,847	1,557,611	1,263,966	0	0	2,821,577
租税公課	32,753,556	6,746,572	39,500,128	26,038,694	0	0	65,538,822
支払負担金	3,949,642	36,840,001	40,789,643	1,552,528	0	0	42,342,171
チケット購入額	403,105	0	403,105	0	0	0	403,105
支援事業助成金	2,950,071	0	2,950,071	0	0	△ 2,950,071	0
委託費	688,827,506	201,550,255	890,377,761	154,069,689	0	△ 70,442,111	974,005,339
接遇交際費	0	22,825	22,825	0	0	0	22,825
支払手数料等	6,726,031	1,905,386	8,631,417	2,583,927	0	0	11,215,344
雑費	1,251,580	456,644	1,708,224	4,332	0	0	1,712,556
②管理費	0	0	0	0	35,970,538	0	35,970,538
役員報酬	0	0	0	0	4,710,929	0	4,710,929
給料手当	0	0	0	0	15,546,111	0	15,546,111
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	1,896,790	0	1,896,790
退職給付費用	0	0	0	0	862,876	0	862,876
福利厚生費	0	0	0	0	4,925,373	0	4,925,373
旅費交通費	0	0	0	0	202,260	0	202,260
通信運搬費	0	0	0	0	59,089	0	59,089
減価償却費	0	0	0	0	187,760	0	187,760
消耗品費	0	0	0	0	967,040	0	967,040
修繕費	0	0	0	0	31,229	0	31,229
印刷製本費	0	0	0	0	24,750	0	24,750
保険料	0	0	0	0	252,880	0	252,880
諸謝金	0	0	0	0	492,334	0	492,334

令和5年度正味財産増減計算書 内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
租税公課	0	0	0	0	2,675,328	0	2,675,328
支払負担金	0	0	0	0	937,500	0	937,500
委託費	0	0	0	0	1,135,250	0	1,135,250
接遇交際費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
支払手数料等	0	0	0	0	1,041,419	0	1,041,419
雑費	0	0	0	0	1,620	0	1,620
経常費用合計	1,499,587,359	1,206,719,175	2,706,306,534	446,435,355	35,970,538	△ 208,721,192	2,979,991,235
当期経常増減額	18,264,289	46,680,682	64,944,971	2,554,716	0	0	67,499,687
2. 経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	18,264,289	4,680,682	22,944,971	2,554,716	0	0	25,499,687
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	18,264,289	4,680,682	22,944,971	2,234,716	0	0	25,179,687
一般正味財産期首残高			636,958,611	3,963,867	0	0	640,922,478
一般正味財産期末残高			659,903,582	6,198,583	0	0	666,102,165
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額		42,000,000	42,000,000	0	0	0	42,000,000
指定正味財産期首残高			186,310,713	0	0	0	186,310,713
指定正味財産期末残高			228,310,713	0	0	0	228,310,713
III 正味財産期末残高			888,214,295	6,198,583	0	0	894,412,878

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

当財団経理規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を引き当てている。

退職給付引当金…職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額から独立行政法人勤労者退職金共済機構の中退共制度による外部拠出額を控除した金額を引き当てている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	0	0	56,920,000
管理運営引当資産	331,000,000	0	0	331,000,000
退職給付引当資産	172,164,335	17,020,379	21,464,051	167,720,663
楽団職退職手当準備資金	131,310,713	42,000,000	0	173,310,713
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	0	0	32,000,000
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	0	0	40,000,000
京響70周年記念事業準備資金	85,500,000	18,000,000	0	103,500,000
ロームシアター京都事業準備資金	5,000,000	0	5,000,000	0
楽器購入資金（ハープ）	9,000,000	8,000,000	0	17,000,000
楽器購入資金（コントラファゴット）	11,000,000	4,000,000	0	15,000,000
楽器購入資金（コントラバス）	13,500,000	0	0	13,500,000
楽器購入資金（チューバ）	0	6,000,000	0	6,000,000
小 計	887,395,048	95,020,379	26,464,051	955,951,376
合 計	990,395,048	95,020,379	26,464,051	1,058,951,376

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	100,000,000	(55,000,000)	(45,000,000)	-
普通預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	56,920,000	(0)	(56,920,000)	-
管理運営引当資産	331,000,000	(0)	(331,000,000)	-
退職給付引当資産	167,720,663	(0)	(0)	(167,720,663)
楽団職退職手当準備資金	173,310,713	(173,310,713)	(0)	-
京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	-
ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000	(0)	(40,000,000)	-
京響70周年記念事業準備資金	103,500,000	(0)	(103,500,000)	-
楽器購入資金 (ハープ)	17,000,000	(0)	(17,000,000)	-
楽器購入資金 (コントラファゴット)	15,000,000	(0)	(15,000,000)	-
楽器購入資金 (コントラバス)	13,500,000	(0)	(13,500,000)	-
楽器購入資金 (チューバ)	6,000,000	(0)	(6,000,000)	-
小 計	955,951,376	(173,310,713)	(614,920,000)	(167,720,663)
合 計	1,058,951,376	(228,310,713)	(662,920,000)	(167,720,663)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	223,294,609	162,261,471	61,033,138

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市令和4年度グリーンボンド公募公債	50,000,000	49,865,000	△ 135,000	退職給付引当資産
京都市令和5年度グリーンボンド公募公債	50,000,000	49,720,000	△ 280,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和元年度第2回)	50,000,000	49,975,000	△ 25,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和4年度第5回)	50,000,000	50,085,000	85,000	管理運営引当資産
京都市債5年(令和5年度第5回)	50,000,000	50,040,000	40,000	管理運営引当資産
18回 京都市公募公債 20年	100,000,000	87,420,000	△ 12,580,000	基本財産
合 計	350,000,000	337,105,000	△ 12,895,000	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 京都市交響楽団事業負担金 交付者 京都市	131,310,713	854,897,286	812,897,286	173,310,713
受取補助金計	131,310,713	854,897,286	812,897,286	173,310,713

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金				
舞台芸術創造活動活性化事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	66,261,000	66,261,000	0
劇場・音楽堂等機能強化推進事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	55,834,000	55,834,000	0
劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	9,600,000	9,600,000	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	0	30,000,000	30,000,000	0
公演助成 交付者 一般財団法人 地域創造	0	2,700,000	2,700,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 日本室内楽振興財団	0	150,000	150,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
公演助成 交付者 三菱UFJ信託芸術文化財団	0	1,000,000	1,000,000	0
受取助成金計	0	166,045,000	166,045,000	0
合 計	131,310,713	1,020,942,286	978,942,286	173,310,713

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	6,906,758
	普通預金	総務課、管理課、事業企画課		
		京都銀行下鴨支店	〃	48,603,883
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	3,013,481
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	68,810
		京都信用金庫北山支店	〃	61,833
		滋賀銀行北大路支店	〃	19,184
		三井住友信託銀行京都支店	〃	20,034
		三井住友銀行京都支店	〃	16,566
		ゆうちょ銀行京都北山支店	〃	2,131,648
		ロームシアター京都		
		京都銀行京都市役所前支店	〃	109,613,738
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	7,312,811
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	13,399,132
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	4,434,873
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	5,535,694
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	69,044
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	8,954,884
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	67,885,999
		三菱UFJ銀行京都支店	〃	2,976,471
		三井住友銀行京都支店	〃	13,800
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	83,749
		京都信用金庫北山支店	〃	112,094
	郵便振替	管理課	〃	34,176
		ロームシアター京都	〃	1,035,273
		京都市東部文化会館	〃	143,334
		京都市呉竹文化センター	〃	497,587
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	276,870
		京都市北文化会館	〃	3,810
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	4,148,675
		京都市交響楽団	〃	253,027
	未収金	総務課		101,684,327
		管理課、事業企画課	ホール利用料金等	62,764,287
		ロームシアター京都	〃	70,566,626
		京都市東部文化会館	〃	388,570
		京都市呉竹文化センター	〃	339,010
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	310
		京都市北文化会館	〃	56,550
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	78,500
		京都市交響楽団	公演料、助成金等	93,938,300

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	貯蔵品	管理課	販売用商品	830,128
		ロームシアター京都	販売用商品、照明用ボリカー	2,143,814
		京都市東部文化会館	照明用ボリカー	685,610
		京都市呉竹文化センター	〃	827,048
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	986,964
		京都市北文化会館	〃	465,909
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	419,519
		京都市交響楽団	〃	1,299,664
	立替金	総務課	光熱水料費等	1,029,539
		管理課、事業企画課	〃	108,240
		ロームシアター京都	〃	4,161,137
流動資産合計				630,401,290
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	18回 京都市公募公債 20年	運用益を公益目的事業の財源と	100,000,000
	普通預金	京都銀行下鴨支店	している	3,000,000
特定資産	記念事業引当資産	普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	56,920,000
	管理運営引当資産	京都市債令和元年度第2回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債令和4年度第5回(5年)	〃	50,000,000
		京都市債令和5年度第5回(5年)	〃	50,000,000
		定期預金 京都銀行下鴨支店	〃	10,000,000
		定期預金 三菱UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		定期預金 京都中央信用金庫北鳥丸支店	〃	10,000,000
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	121,000,000
	退職給付引当資産	京都市債 令和4年度グリーンボンド 公募公債	退職給付引当金に充てる	50,000,000
		京都市債 令和5年度グリーンボンド 公募公債	〃	50,000,000
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000
		定期預金 みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	47,720,663
	特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	楽団職退職手当準備資金	173,310,713
		〃	京都コンサートホール記念事業準備資金	32,000,000
		〃	ロームシアター京都記念事業準備資金	40,000,000
		〃	京響70周年記念事業準備資金	103,500,000
	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入 (ハープ)	17,000,000
		〃	什器備品購入 (コントラファゴット)	15,000,000
		〃	什器備品購入 (コントラバス)	13,500,000
		〃	什器備品購入 (チューバ)	6,000,000
その他固定資産	什器備品	総務課	什器備品	495,265
		管理課、事業企画課	〃	3,295,841
		ロームシアター京都	〃	1,729,684
		京都市東部文化会館	〃	726,615
		京都市呉竹文化センター	〃	726,622
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	860,572
		京都市北文化会館	〃	726,623
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	726,622
		京都市交響楽団	〃	51,745,294
	電話加入権	管理課、事業企画課	電話加入権	314,370
固定資産合計				1,120,298,884
資産合計				1,750,700,174

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	77,241,705
		管理課、事業企画課	公演経費、ホール運営経費等	68,945,223
		ロームシアター京都	ホール運営経費等	51,716,975
		京都市東部文化会館	〃	2,159,330
		京都市呉竹文化センター	〃	1,854,019
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	852,498
		京都市北文化会館	〃	2,097,820
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	2,746,576
		京都市交響楽団	人件費、公演経費等	95,899,390
		総務課	法人税等	320,000
	未払法人税等 前受金	管理課、事業企画課	ホール利用料金等	49,952,275
		ロームシアター京都	〃	132,926,960
		京都市東部文化会館	〃	4,105,040
		京都市呉竹文化センター	〃	7,104,670
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	2,824,650
		京都市北文化会館	〃	5,553,000
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	6,512,230
		京都市交響楽団	友の会会費等	46,854,000
		総務課	社会保険料等	10,297,856
		管理課、事業企画課	チケット購入代金等	33,105,917
	預り金	ロームシアター京都	〃	24,846,681
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	854,766
		京都市呉竹文化センター	〃	1,882,782
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	304,713
		京都市北文化会館	〃	1,021,482
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,388,439
		京都市交響楽団	〃	16,722,003
		職員	職員賞与引当金	38,475,633
	賞与引当金			
流動負債合計				688,566,633
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	167,720,663
固定負債合計				167,720,663
負債合計				856,287,296
正味財産				894,412,878